




# 中部山岳国立公園パートナー取組予定

(五十音順 令和3年7月12日締結企業)

企業・団体名	取組予定の概要
 アルパインカフェ <b>満寿屋</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 上高地クラシックルート徳本峠登山道整備のサポート</li> <li>(2) 旧島々宿に江戸時代から残る土蔵を活用し、山岳の歴史に特化したカフェを運営</li> <li>(3) 中部山岳国立公園にまつわる山岳書籍の古書や杣（そま＝林業）の生活から登山案内へ変遷した島々に残る昔の山道具・登山用具などの展示を行い、来店者に歴史や魅力を発信</li> <li>(4) SNS (Facebook・Instagram・Twitter) などを活用し中部山岳国立公園の現地の情報や魅力を発信</li> <li>(5) (4)の実施にあたって、「中部山岳国立公園」の文言を意識的に使用し、北アルプスが「中部山岳国立公園」であることを周知</li> </ol>
 <b>長野銀行</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中部山岳国立公園を有する松本市安曇地区を主体地域として、「ながぎん地域応援隊」を設置し、関係機関、地元事業者及び地元住民様とともに地域活性化を目的に活動</li> <li>(2) 中部山岳国立公園の自然を活用した持続可能な地域づくりのモデル構築のため、関係機関と連携した地域コンサルティングの実施及び関係機関会合への積極的参加</li> <li>(3) 当行のホームページやSNSを通じて、中部山岳国立公園の魅力を随時発信</li> <li>(4) 経営支援プラットフォーム「Nagano Big Advance」を通じた全国の中小企業及び従業員への情報発信のプラットフォーム提供</li> <li>(5) 事業者や移住者に対する投融資及び情報の提供</li> <li>(6) 事業者とのマッチングサービス提供による課題解決支援</li> <li>(7) クラウドファンディングの組成サポートによるブランド力向上支援・中部山岳国立公園のブランド力向上に資する取組みを実施</li> </ol>
 <b>八十二銀行</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 当行ホームページ内の環境ページに中部山岳国立公園とパートナーシップ締結及び中部山岳国立公園を紹介する内容を掲載</li> <li>(2) ディスクロージャー誌に中部山岳国立公園を支援している旨のページを掲載</li> <li>(3) 中部山岳国立公園内で行う外来種の除去作業</li> <li>(4) 中部山岳国立公園内で行われる環境保全活動に希望する職員が参加</li> <li>(5) (4)で行う中部山岳国立公園内の環境保全の活動風景な</li> </ol>

	<p>どを当行 CM 等で紹介</p> <p>(6) 長野県外店舗（東京・埼玉・群馬・新潟・愛知・大阪）において、中部山岳国立公園を紹介するパネル・パンフレットを配置</p> <p>(7) 当行と銀行システムを共同化している銀行（通称：じゅうだん会）加盟行（山形銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、阿波銀行、宮崎銀行、琉球銀行）に対し、各銀行からの出向者を通し、中部山岳国立公園内の観光地・自然などを紹介し、各行の行員向けに観光地への誘致を実施</p>
<p><b>Bellcadia</b> ベルカディア (モンベルグループ)</p>	<p>(1) モンベルあづみの店、モンベルヴィレッジ立山にて中部山岳国立公園関係パンフレットの設置</p> <p>(2) 店内イベントスペースの提供</p> <p>(3) 店内セミナーにて中部山岳国立公園の魅力についてスタッフが資料を用いて参加者へ紹介</p> <p>(4) ベルカディアが開催するアウトドアイベント「モンベル・アウトドア・チャレンジ」にてイベントの企画、実施</p> <p>(5) WEB、アプリ、店頭冊子などで中部山岳国立公園の魅力や情報を発信</p> <p>(6) 上記(1)～(5)の実施にあたって、「中部山岳国立公園」の文言を各所で使用し、北アルプスが「中部山岳国立公園」であることの周知に努める</p>
<p>松本・高山 ナショナルパーク ゲストハウスグループ</p>	<p>(1) 各宿泊施設内に中部山岳国立公園のポスター掲示</p> <p>(2) 各宿泊施設内に中部山岳国立公園のパンフレット設置</p> <p>(3) 各宿泊施設の Web サイトに中部山岳国立公園 Web サイトのリンクを掲示</p> <p>(4) 国立公園の魅力を再確認する研修の実施</p> <p>(5) 日々のゲストとのコミュニケーションの中で国立公園の魅力を訴求</p> <p>(6) 利用者の動向把握のため各ゲストハウスでアンケートを実施</p>